

安心して暮らせる社会の実現を 社会福祉大会開催



地域福祉の更なる充実
に向けた啓発を図る機会
としてむつ下北地域社会

福祉協議会とむつ市社
会福祉協議会(共に長濱
操会長)が11月1日、む

つグランドホテルに於いて社会福祉大会を開催、大会スローガン「育てよう助け合い支え合う地域のこころ」を掲げ、約四〇〇名の出席者が見守る中、社会福祉活動の発展と功績のあった三団体・個人五〇名の功労者を表彰、地域福祉向上の経済的援助に貢献した十八団体・個人四名に感謝状が贈られた。大会では弘前大学大学院医学研究科科長の中路重之氏を講師に「いつまでも自分らしく、生き生きと介護予防・健康寿命の視点から」と題した記念講演を実施、青森県の短命の実情に大勢の聴衆が熱心に聞き入り、工藤昇副大会長の朗読による大会宣言では、管内の社会福祉関係者一堂の総力を結集した

福祉社会の実現を目指すと宣言。満場の拍手により採択され盛況に終えた。同時開催として、介護の日フェアとして会場前では近年注目を集めている介護ロボや車いすを始めとした多様な福祉用具を展示。訪れた参加者は手にとって試すなど福祉の「いま」を体感した。



発行所
むつ市田名部町7番3号白川ビル2F
(有)ウィークしもきた社
TEL22-9173 FAX22-9222
weekshimokita@tmt.ne.jp
毎月7日・17日・27日発行
購読料 1年払 6,000円